

ホーム名：グループホーム楠根の里 1階

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念として、「その人らしい心身に穏やかな状態を保ち、楽しみや張り合いのある暮らしをモットーとする」を掲げ、地域密着を常に職員の人達に理解してもらえるよう話している	事業所の理念を入居者が書いて、玄関にかけられてる。入居者と職員と共同作業の様子が窺われる。	穏やかで張りのある暮らしの実現に向け、更に若い職員、ベテラン職員が協力して理念を実践して欲しい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日の散歩では、近所の人達と挨拶を交わしたり、小学校の運動会や盆踊り大会に参加し、楽しませて頂いている	自治会にも入って、散歩のときは近所とも挨拶を交わしている。小学校の運動会にも呼んでもらって、踊りにも参加している。	地域との交流は住んでいるという感覚を持つためにも大切と思われる。続けていただきたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実施していないが、地域包括センターと連絡を密にして、前向きに取り組んでいきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の方に当ホームを理解して頂き、また意見を頂いている	自治会、包括支援センター、家族、理事長、職員の参加がある。活発な会議かどうかは議事録だけでは分からない。	折角時間を割いて、開くからには有意義な会議とされたい。話し合った内容の記録はしっかり残すことを期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	入所希望者や見学者について紹介を頂いた時、困ったときにはご指導頂いている。また、パンフレットを置かせて頂いている	高齢介護室に何かと相談・連絡事項で話し合われている。最近はスプリンクラーのことなどで話し合った。	行政と意思の疎通は大切である。現場としての意見もしっかり伝えて理解を得られたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	国道が近くにある為、施錠しなければならないのが現状である	身体拘束についてはしたことはない。施錠については帰宅欲求が強い方がいるとのこともあり施錠している。	帰宅欲求は原因があると考えられる。其れを取り除くことも視野に入れたケアを考えてみていただきたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員はホームのモットーを常に意識し、日々の介護に努める様、努力している		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入所申し込み時、家族や関係者に説明している</p>			
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時は、必ず家族と充分話し合っている</p>			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設け、いつでも感じたことを書いて頂ける様に、管理者も来訪者になるべく声かけするよう心がけている</p>	<p>家族に対しては出来るだけ来訪時に直接お話しをして伝えることをモットーにしている。</p>	<p>左欄に記したことはもっともなことである。しかしホームに余り来られない家族に対しては、1ヶ月のホームの様子と、入居者の暮らしぶりを知らせる手立ても考えられたい。</p>
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>いつでも話が出来る様、個々人と話す時間を多くとる様、心がけている</p>	<p>日常の中での話を聞いたり、月1回の職員会議でも聞き取っている。</p>	<p>職員が出した意見を聞き取り、運営につながることにすると、職員の仕事に対する励みになる。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昇給・賞与にて、職員の実績を評価し、向上心をもって働いてもらえるよう、話しをする時間を設けている</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者の最も悩むところであり、研修を受けた後、他の職員に効果的に伝達する方法等、運営者自身之から学ばなければならない</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>お誘いがあれば参加する心がけているが、積極的な取り組みはまだ行えていない</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所当初は出来るだけ個人的に接する機会を多く持ち、早く信頼関係が出来る様心がけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学时・体験入所時等出来るだけ、家族や関係者の話しを聞く様心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	聞き上手になり、本人や家族・関係者の気持ちを大切にす様努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の一番活躍していた頃の話しを導き出し、喜びを大きく共にする様心がけている		
19		○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族などの来訪された時は、居室ばかりにおらず、リビングで他の利用者や職員と共に過ごして頂く様努めている		
20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	疎遠であった人たちには少しでも密になる様、又、密着していた家族には距離をおいて見られる様、話しかけたり接したりしている	何とか家族の来訪を増やしたりすることに、腐心されているようである。	家族関係が三親等離れるようなときは、中々たびたびの来訪が期待できない。職員で補ってあげていただきたい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	当施設は1階・2階があり、気のあった人同士が行き来している。また、歌体操などのボランティア開催時は合同で参加している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて相談にのらせてもらったり、ハガキなどで近況報告を頂いている		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話を大切にし、家族の方も交え充分話し合いを持つよう努めている	話す時は顔を見て話すことを、理事長以下職員全員に徹底している。	思いをくみ取ることこそが介護の一番求められることと考える。職員にも年配の方がいて、入居者は話しやすいと思われる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	会話を大切にし、その人らしさを見極めるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1人ひとりに合ったサービスの提供が出来る様、ケア・マネジャーや職員が本人を把握する様努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア・マネジャーが絶えず総合的に把握し、家族や関係者と連絡を密にしている	ケア・マネジャーは看護師でもある。介護計画には目標も評価も記載してあり。次回の介護計画に資することが出来る内容になっている。	介護計画の内容はしっかり書かれている。これからも続けられたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々、個別の記録をケアプランに沿って記録を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院や整髪等、家族の状況や要望に応じられる様努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の小学校の運動会や盆踊りに参加させて頂いたり、定期的にボランティアさんにお越し頂いている		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月2回、協力医療機関からの往診を受けている。従来のかかりつけ医に通院することは、本人・家族様の自由としています</p>	<p>従来のかかりつけ医からの移行が徐々に進み協力医療機関である香川クリニックと、青樹会病院による夫々月1回の往診を受けている。</p>	<p>歯科の協力医療機関が遠方で利用し難く、現在近医を探している。</p>
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>ケアマネが看護師であるので、協力医療機関と相談しながら支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際には面会に行き、利用者様の状態把握に努め、家族様の相談にのるように努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所される前に、当ホームでの、できる範囲のことは家族様に説明させて頂いている。重度化した場合には、再度、家族様や病院関係者と話し合いをしている</p>	<p>重度化した場合の対応については、利用開始時や、身体状況の変化による区分変更申請の際に本人、家族、医療関係者と方針を話し合っている。</p>	<p>関係者で話し合っ得た終末期の対応方針は、記録に留めておくことが望ましい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを常備しており、すべての職員が実践できるよう努めている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は、年2回行っており、自治会に協力をお願いしている</p>	<p>消防署と連携した避難訓練を年2回実施している。消防署が近いので、火災発生時には2階の利用者はベランダに避難して救出を待つよう指導されている。</p>	<p>災害時に備えて、食料や飲料水の備蓄も必要である。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員1人ひとりがよく注意し、対応している</p>	<p>個人情報、施設可能な書庫に保管されている。また、職員は目線を合わせて利用者に声かけをし、敬意のこもった言葉使いや態度で接している。</p>	<p>高齢者介護の最大のキーワードは「尊厳」である。今後共、利用者に敬意を払った対応を継続して頂きたい。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>聞くことを大切に、利用者様が、ゆっくり思いが話せる様導き、納得できる様支援している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴・昼寝・レクリエーションなど、利用者様1人ひとりのペースに合わせてながら支援している</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>何を着るか本人に聞きながら、対応している</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お手伝いのできる利用者様は、野菜の皮むきやテーブル拭きなど、できる範囲ですべて頂いている</p>	<p>業者が搬入した食材と自家製の米や味噌を使用し1・2階夫々で調理している。職員は利用者と同じテーブルに着き、談笑しながらさりげなく介助している。</p>	<p>評価当日は誕生会で、理事長持参の赤飯が利用者に好評で、残さずに自力摂取出来ていた。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士によるカロリー計算のもと、献立・調理している。食事量・水分量は時間・量を記録し、少量の場合は補食して頂いている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、口腔ケアをして頂いている。できない利用者様は、職員が介助している</p>		

43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表にて記録しており、時間をみて、声かけ・誘導を行っている</p>	<p>排泄チェック表には、該当する時間の欄に自尿は黒丸、失禁は赤丸で記録し、各人の排泄パターンを把握して自立支援に努めている。</p>	<p>「オムツからトイレへ」を合言葉に、今後も排泄の自立に向けた支援を願いたい。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便も記録し、便秘の方へは、果物の摂取・運動を心がけている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日・時間は一応決めているが、利用者様が納得いかない場合は、納得できる様支援している</p>	<p>入浴と足浴を夫々週2回、曜日と時間を決めての支援を行っている。広くゆったりとした浴室である。</p>	<p>これまでの生活習慣により、入浴回数、時間等各人の希望に沿えるよう支援している。</p>
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個別で対応しており、眠れない場合などはお話をし、リラックスして頂ける様にしている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬については、説明文を個人記録に添付しており、薬の変更等は、管理日誌・連絡ノートで職員に伝えている</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>日々の洗濯干し・たたみや、外食を楽しみにされている方、ドライブや買い物などを支援し、気分転換を図っている</p>		

49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>日課で散歩を取り入れている。花見・遠足などにいたり、外食など希望がある場合は、できるだけ対応しており、家族様にもご協力頂いている</p>	<p>毎日の散歩は、事業所近辺の住宅街や、小学校に行っているが、年1回の遠足は、枚方パークや淀川河川敷等に出かけている。</p>	<p>自家菜園でのさつま芋の植え付け、収穫等自然との触れ合いが行われている。</p>
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持についてはトラブルを招く為、当ホームではお預かりさせて頂いている。買い物などのご希望時には、職員同行にて支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があった時には、電話を取り次いだり、年賀状・暑中見舞などを書いて頂いている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、お雛様・クリスマスツリーなどを飾りつけたりし、季節を感じてもらえる様にしている</p>	<p>玄関先には情緒ある日本庭園が設えてあり、ホールには入居者の書による理念が掲げられている。居間・廊下は広々として、明るく快適である。</p>	<p>一階・二階の居間には畳コーナーがあり、寒い冬に利用者が掘り炬燵で寛げるようになっている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ・椅子にて、1人または気の合った人同士で過ごして頂けるようにしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に家族様と話しをし、利用者様に安心して暮らして頂けるよう工夫している</p>	<p>洗面台の下部に蛇口からすぐに給湯出来るシステムが組み込まれており、従来のように冷水を相当量流出させなくて済み環境にも良い。</p>	<p>1フロアあたり利用者は8名で、洋室・和室ともゆったりしており、テレビやカレンダー他、スヌーピーの縫いぐるみ等愛着のある品物も置かれている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレには、大きく表札をあげ、わかりやすくしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない